



SDGs研修会「探究の学びのつくりかた」

～軽井沢風越学園の目指すプロジェクト～

幼小中混在の幼稚園・義務教育学校として、様々なチャレンジ・取組を行い、教育界に新しい風を吹かせている「軽井沢風越学園」。子どもたちの探究心を大切に育み、一人一人の思いや願いに丁寧に寄り添ってその成長を後押しする在り方から、全国的に注目されている学校です。

そんな魅力的な学びをしている風越学園校園長の岩瀬直樹さんが今年度も愛媛大学に来てくださることになりました。

今回は、風越の学びを創っているスタッフの大作光子さんにも来ていただき、ワークショップ形式の研修をご用意！こんなチャンス、めったにない！ぜひ一緒に学び合いませんか。関心のある方のご参加をお待ちしております！！



軽井沢風越学園 校長
岩瀬直樹さん



軽井沢風越学園
大作光子さん

場 所

愛媛大学E.U. Regional Commons (ひめテラス)
3階地域交流スクエア (愛媛大学正門南すぐ)



2022年4月にできた
新しい施設です！

伊予鉄道・市内電車赤十字病院前下車・北へ徒歩2分

お申し込みはこちらから！
<https://forms.gle/aFikzBeE6sHdXWCB6>



日 時/参加条件など

6月24日(土)9:00～15:00

受付8:30～ 定員40名(先着)

参加費2,500円(テキスト代として)

研修会の概要

軽井沢風越学園の実践をまとめた書籍(出版予定)『プロジェクトの学びでわたしをつくる』をテキストにして講義とワークショップ形式で研修を行います。

本研修を通して、体験を通して探究の学びの理解を深め、自分のフィールドで実践してみたい！と意欲が高まる時間にしたいと考えています。

- ・風越学園のプロジェクトの実践紹介
- ・探究の学びの体験「ミニ探究ワークショップ」
- ・プロジェクトの設計やチューニング体験

などをおこなう予定です。

～書籍の目次より～

- 序 章 子どもの学びとは？
- 第1章 プロジェクトがはじまるまで
(風越学園におけるプロジェクトとは？)
- 第2章 子どもの学びに補助線を引く
「学びの地図と探究スキルバザール」
- 第3章 風越学園のプロジェクトの学び
- 第4章 アウトプットデイをつくる
- 第5章 プロジェクトのことを聞こう～スタッフの声・子どもの声～
- おわりに さらに学びたい人に

お問い合わせ

愛大・ESDラボ事務局



〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学教育学部教育臨床講座内

担当: 藤原 一弘(愛媛大学教育学部) E-mail [fujwara.kazuhiro.xb@ehime-u.ac.jp](mailto:fujiwara.kazuhiro.xb@ehime-u.ac.jp)



どんな子どもにも幸せな子ども時代を過ごしてほしい。遊びが学びへとつながっていく、この人間の自然な育ちを大切にしたい学校をつくりたい。そうした思いをベースに私たちは、3歳から15歳までが一つの校舎で学ぶ「軽井沢風越学園」を2020年4月に開設しました。

私たちは、講義中心の一斉授業・画一的なカリキュラム・固定的な学級編成等に代表されるような従来型の学校教育に限界を感じている一方で、子ども自身と公教育の可能性を信じています。自分はどんなことに幸せを感じるのだろうか、また自分以外と一緒に生活する仲間や生き物・自然を含めて、幸せになるってどういうことだろうか、と考え続けてもらいたいという願いがあります。

軽井沢風越学園は、子どもも大人も「つくる」経験を、じっくり、ゆったり、たっぷり、まぞって積み重ねていきます。本気で手間をかけて「つくる」ことに没頭し、ときには不安や不安定さを味わいながら「つくる」ことに挑戦していきます。私たちは子どもこそがつくり手であることを信じています。

ここでいう「つくる」は物理的なものや学習の成果物だけにとどまりません。安全・安心な場を自分たちでつくる、学びをつくる、自分たちの学校をつくる、コミュニティをつくる、仕組みをつくる、ルールをつくる、自分をつくる。つまり、「わたし(たち)の未来をわたし(たち)でつくる」冒険をするのです。子どもたち、スタッフ、保護者、地域の方々など、軽井沢風越学園では誰もががつくり手です。「つくる」ことを通じて、「自由に生きる」ということと「自由を相互に承認する」ということを繰り返し試していきます。そうすることで、1人ひとりが幸せになり、幸せな社会をつくっていくのです。

(風越学園HPより)

講師紹介【岩瀬直樹さん】

北海道札幌市出身。東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了。埼玉県公立小学校教諭として、4校で22年間勤め、学習者中心の授業・学級づくりに取り組む。2015年に退職後、東京学芸大学大学院教育学研究科 教育実践創成講座 准教授として就任。学級経営、カリキュラムデザイン等の授業を通じて、教員養成、現職教員の再教育に取り組んだ。

2016年12月、軽井沢風越学園設立準備財団設立に参画し、2019年10月学校法人軽井沢風越学園設立。2020年より軽井沢風越学園校長。2022年5月軽井沢風越ラーニングセンターを開所し、スクールベースの教師教育に挑戦している。

(主な著作)

『インクルーシブ教育を通常学級で実践するってどういうこと?』(学事出版 2019年) (共著)

『せんせいのつくり方“これでいいのかな”と考え始めたわたしへ』(旬報社、2014年) (共著)

講師紹介【大作光子さん】

東京都調布市出身。筑波大学大学院図書館メディア研究科博士課程単位取得退学。情報学(博士)。大学講師を勤めたあと、私立明星学園小学校・中学校の専任司書教諭として総合探究科の新設に携わり、「図書館と情報」などの授業を担当。2019年より軽井沢風越学園の開校に向けたライブラリー準備を担い、2020年度の開校時より参画。これまで小学生、中学生のプロジェクトの学びを担当し、幼稚園から中学生までの読書や探究の学びのための読書をサポートしている。2022年度からは軽井沢風越ラーニングセンターの一員として、プロジェクトの学びについての講座を担当している。

【確認・留意事項(必ず確認してください)】

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて実施します。
- ② 研修会当日は、スタッフの指示に従ってください。研修会時に起こった事故、怪我、トラブル等に関しては主催者及び講師は一切の責任を負いません。予めご了解の上、ご参加ください。
- ③ **愛媛大学キャンパス内には駐車場はありません。**近隣の駐車場が公共交通機関をご利用ください。当日は他のイベントもあり、混雑が予想されます。余裕をもってお越しください。
- ④ **本研修会は、申込フォームによる先着順で申込を受け付けます。また、当日受付にて参加費を徴収します。できるだけお釣りの無いようにご準備ください。**
(お支払いの無い方は、参加いただけません。)



独立行政法人教職員支援機構



※ 本研修会は、JSPS科研費 22K02576の助成及びNITS(教職員支援機構)・教職大学院等コロナ研修プログラム支援事業の助成を受けて実施します。